



世界 14 カ国の観光大臣などが壇上に勢ぞろいし、持続可能な観光開発をめぐる語り合いました

JATAと日本観光振興協会(日観振)、日本政府観光局(JNTO)は9月21日から24日までの4日間にわたり、東京・有明の東京ビッグサイトで「ツーリズムEXPO ジャパン(TEJ)2017」を開催しました。4回目を迎えた世界最大級の「旅の祭典」では、国連の「持続可能な観光国際年」に関連した観光大臣会合やシンポジウム、海外・国内訪日の商談会なども実施。世界の130カ国・地域と国内47都道府県から過去最大となる1310の企業団体が出展し、会期中の来場者も19万1500人を数え最高記録を更新しました。

交流の力を世界に訴える 見え始めたツーリズムの「新しいカタチ」

主催団体を代表して開会宣言を行った日観振の山口範雄会長は、現在の世界について「テロや難民問題に端を発し、ポピュリズムが台頭して交流を妨げる動きが懸念される状態にある」という認識を示し、「ツーリズムに携わる者として、皆様とともに声をそろえて交流の力を訴えていきたい」という考えを明らかにしました。

また、山口会長は、昨年1年間に日本を訪れた外国人旅行者数が2400万人を



石井啓一国土交通大臣



築和生国土交通大臣政務官(左)と観光庁の田村明比古長官

超え、観光が国の成長戦略の柱に掲げられる時代となったことに言及し、「2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、全国津々浦々に国際交流の輪が広がる観光大国の実現に貢献したい」と語り、「TEJが進化を続け、参加者の皆様の役に立つと同時に、観光を通じた平和な世界の実現に資するイベントとなることを約束する」と決意を表明しています。

山口会長は、国際観光旅客数が毎年



日本観光振興協会の山口範雄会長



日本政府観光局の松山良一理事長(左)とJATAの田川博己会長

増え続けており、昨年は前年比4%増の12億3000万人が世界中を旅行するなど、国連が掲げる「持続可能な観光」が求められていると指摘し、TEJ2017のグローバル観光フォーラムで実施される観光大臣会合やアジア・ツーリズムリダーズフォーラムなどで議論が深まることに期待を示しました。

TEJ2017では、BtoB向けに、創ろう。ツーリズムの新しいカタチ、BtoC向けには、見つけよう。旅の新しいカタチをキャッチフレーズに掲げており、山口会長は、「観光事業では商談や情報交換を通じて異業種も巻き込んだ新しいビジネスの契機としていただき、お客様には体験を通じてテーマを感じる、旅の新しいカタチを訴えかけていただきたい」と呼びかけています。

国際交流拡大や地域活性化の促進を

開会式に来賓として出席した石井啓一国土交通大臣は、国際観光旅客数が昨年まで7年連続で増加していること、観光は経済だけでなく、社会の共生、環境の保護、文化・平和・安全にも大きく貢献するものであり、今後も成長を継続させていくことが重要だ」と強調しました。「わが国においても観光を取り巻く状況は大きく変化しており、過去最高を記録した昨年の訪日外国人旅行者による消費額は3兆7476億円に達し、自動車や化学製品の輸出額に次ぐ規模になった」と指摘する

ツーリズムEXPOジャパン2017

開会式 観光大臣会合



マレーシアのダト・スリ・モハメッド・ナズリ・ビン・アブドゥル・アジズ 観光文化大臣

メキシコのエンリケ・デラマドリ・コルデーロ観光大臣は、来日後にメキシコで大地震が発生したことを受けて急遽帰国したため、メキシコ政府観光省のハビエル・ギジェルモ国際局長が基調講演を代読しています。

国連が2017年を「持続可能な観光国際年」と設定しているのに合わせて、UNWTO（国連世界観光機関）との共催で実施されたツーリズムEXPOジャパン観光大臣会合では、メキシコの観光大臣とマレーシアの観光文化大臣が基調講演を行いました。

「持続可能な観光」が成長のキーワード

一方、「海外旅行者数も2016年は前年比5.6%増となるなど明るい兆しが見えてきており、今後とも各国との双方方向の交流を促進していかなければならない」という考えを表明。「観光先進国の実現は、国連が掲げる『持続可能な観光』にも大いに貢献するものと確信している」と語っています。



EXPO 交流会に駆けつけ挨拶する自民党の二階俊博幹事長

マレーシアのダト・スリ・モハメッド・ナズリ・ビン・アブドゥル・アジズ観光文化大臣は基調講演の冒頭で、「ツーリズム産業は過去数十年間にわたって成長を続け、世界経済において最も急速に多様化してきていることから、このタイミングで観光大臣会合が開催されることは極めて時宜を得たものだ」と指摘。「急成長するツーリズム産業のダイナミズムは、世界各国における社会的な発展にとってエンジンとしての役割を果たすもので、『持続可能な観光』が決して常套句として陳腐化することなく、より環境にやさしい経済を維持する上



“WELCOME RECEPTION JAPAN”で挨拶する菅義偉内閣官房長官

持続可能性をめぐる課題の先頭に

で中心的な考え方となり続けることを認識しなければならぬ」と訴えました。

アニータ・メンディラッタUNWTO事務局長スベシャルアドバイザーがモデレーターを務めたツーリズムEXPOジャパン観光大臣会合には、世界14カ

国の観光大臣などが参加し、持続可能な観光をめぐる各国における取り組みや考え方を語り合いました。

今回の観光大臣会合に登壇した各国の観光行政トップは、世界全体をカバーする広がりを見せており、会場では広い視点からツーリズム部門と持続可能性という理念を結びつける知見が示され、ツーリズム産業が今後も持続していくために、ツーリズムビジネスそのものも持続可能性という原則に基づくことの重要性が確認されました。



東京都のステージイベントで挨拶する小池百合子都知事

■観光大臣会合に登壇された皆様■

オーストラリア ジョン・オサリバン 政府観光局本局局長
カンボジア チャンター・ティ 観光副大臣
エジプト アドラ・ラガブ 観光副大臣
フランス クリスチャン・マンティ 観光開発機構ジェネラル・マネージャー
日本 田村明比古 国土交通省観光庁長官
日本 富田哲郎 日本経済団体連合会観光委員会委員長／東日本旅客鉄道代表取締役社長
リトアニア セルゲユス・ティホミロヴァス 経済大臣顧問
マレーシア ダト・スリ・モハメッド・ナズリ・ビン・アブドゥル・アジズ観光文化大臣
メキシコ エンリケ・デラマドリ・コルデーロ 観光大臣（※登壇なし）
メキシコ ハビエル・ギジェルモ 観光省国際局長（※基調講演代読）
ミャンマー オウン・マウン ホテル 観光大臣
パラグアイ マルセラ・パシガルボ 観光大臣
フィリピン ワンダ・コラゴント・テオ 観光大臣
南アフリカ トコジレ・カーサ 観光大臣
タイ コープカーン・ワッタナワランクーン 観光・スポーツ大臣
ウズベキスタン アジズ・アブドゥハキモフ 観光開発国家委員会総裁
UNWTO タレブ・リファイ 事務局長（※ビデオメッセージ）
UNWTO スー・ジン アジア太平洋地域部部長
WTTC ジェラルド・ローレス 会長
太平洋アジア観光協会（PATA） サラ・マシュー 会長

「若年世代に対しても、ツーリズムは単なる金儲けではなく、自らのアイデンティティやプライドを維持することこそ大事なのだと伝えていくべきだ」と主張しています。

UNWTOのスー・ジンアジア太平洋地域部部長は、「ツーリズム産業が持続可能性をめぐる社会的・経済的課題の先頭に立たなければならない」と総括しました。